

サイラムザ療法

【レジメン】

day 1,15

③サイラムザ 8mg/kg

day 2~14,16~28 休薬

上記を4週毎に繰り返す。

【治療内容】

実施日	投与薬剤	経路	投薬内容	時間
day1 (/)	<input type="checkbox"/> ① ポラミン注5mg+ 生食50mL	点滴	過敏症予防の点滴です。	15分
	<input type="checkbox"/> ② デキサート8mg+ グラニセトロンバッグ1mg/50mL	点滴	吐き気予防の点滴です。	30分
	<input type="checkbox"/> ③ サイラムザ () mg+ 生食250mL	点滴	治療薬です。 *フィルター付輸液セット使用	60分
	<input type="checkbox"/> ④ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
	<input type="checkbox"/> ⑤	※ 観 察 時 間		45分
day8	休薬			
day15 (/)	<input type="checkbox"/> ① ポラミン注5mg+ 生食50mL	点滴	過敏症予防の点滴です。	15分
	<input type="checkbox"/> ② デキサート8mg+ グラニセトロンバッグ1mg/50mL	点滴	吐き気予防の点滴です。	30分
	<input type="checkbox"/> ③ サイラムザ () mg+ 生食250mL	点滴	治療薬です。 *フィルター付輸液セット使用	60分
	<input type="checkbox"/> ④ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
	<input type="checkbox"/> ⑤	※ 観 察 時 間		45分
day22	休薬			

※観察時間：Infusion reactionの発現確認のため、最初の2サイクルは必ずサイラムザ投与後1時間、観察時間を設けること。Infusion reactionの発現がなければ、3サイクル以降は省略可能。

【化学療法に関わる指示】

嘔気時：ロメトクロプラミド () A 静注およびデキサート () mg 静注 ※配合変化のため混合しない
上記効果が不十分な場合

ロオランザピンOD錠5mg 1錠内服 (1日1回のみ使用可) ※糖尿病の既往がある場合は使用不可

吃逆時：ロメトクロプラミド1A静注

ロコントミン10mg 1A 筋注

※メトクロプラミド (注射・錠剤) とH2ブロッカー (注射) またはPPI (注射) は原則併用禁忌です。

国立病院機構函館病院 外科・消化器科
令和元年5月1日